

道徳的価値と向き合い、友達の考えに触れ、 自分の考えを深める児童の育成

～小学校低学年におけるワークシートとICTを活用した授業の工夫～

特別研修員 道徳 林 さとみ(小学校教諭)

児童の実態

- 相手の立場に立って気持ちを考えることに課題が見られる。
- 自分の考えを文章で書き表すことへの支援が必要である。

教師の願い

- 相手の立場に立って気持ちを考えてほしい。
- 1年生に合った方法で、自分の考えを表現してほしい。

授業実践 主題名 しんせつはいいきもち B-(7)親切、思いやり 教材名「はしのうえのおおかみ」(出典：日本文教出版)

導入



親切にするとは、どういうことなのでしょう。



親切にするって、相手の気持ちを考えたり、困ったときに助けたりすることかな。

今日は、めあて「親切にすると、どんないいことがあるのだろう」について考えていきましょう。

手立て1 登場人物の心情を考えるためのワークシートの工夫とICTの活用

① ワークシートの工夫

中心発問 うさぎに親切にしたとき、おおかみはどんな顔、どんな気持ち？

【中心発問用のワークシート】

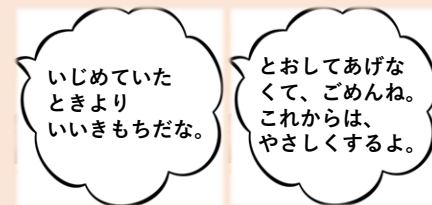
・顔をシルエットにして表情を描く

・吹き出しに言葉を入れる

かんがえよう おおかみのきもちは？

おおかみは、どんな顔をしているのかな？

おおかみの気持ちを入れよう！



② ICTの活用

学級の実態に応じて
**ICT活用の
仕方を選択**

A 紙のワークシートに考えを記入
→タブレットのカメラ機能で写真を撮って提出

B デジタルのワークシートに
考えを記入して提出

○学期はA、△学期はB
でやりましょう。

※児童のICT活用の習熟度に合わせて選択をする。

友達の考えに触れる



泣いている顔をかいた人が
いるけどなぜかな？

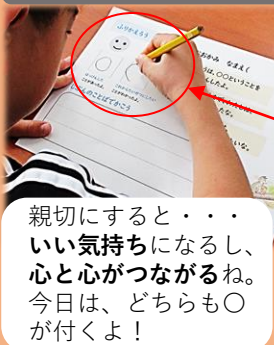
展開 中心発問の場面

手立て2 自分の考えを表現するためのワークシートの工夫

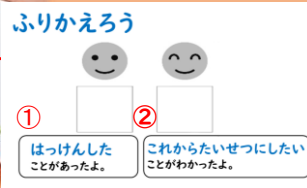
① 二つの視点から自己評価

② 三つのキーワードから 自分の考えを文章で表現

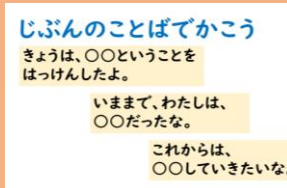
自分の考えを深める



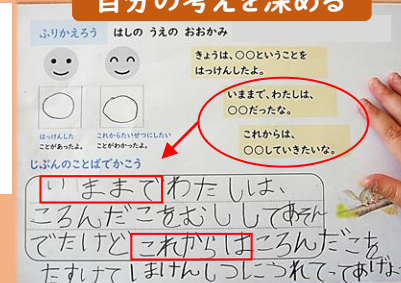
親切にすると・・・
いい気持ちになるし、
心と心がつながるね。
今日は、どちらも○
が付くよ！



※①は多面的・多角的な見方
②は自分自身との関わり



※自己評価に合わせて
キーワードを選択



いままでわたしは、
ころんだことをおしめてあか
でたけど、これから、ころんだこと
をわけておしめていこう。

目指す児童像 道徳的価値と向き合い、友達の考えに触れ、自分の考えを深める児童

成果

- 中心発問の場面では、ワークシートとICTを活用したことで、1年生の児童が、登場人物の立場に立って心情を考えたり、心情を様々な角度から捉えたりすることができた。
- 振り返りの場面では、自己評価と共にキーワードを活用して自分の考えを文章で表現したことで、自分自身を見つめ直し、道徳的価値についての自分の考えを深めることができた。

課題

- どの児童も、道徳的価値について自分の考えを表現できるように、ワークシートを児童の実態に合わせて工夫する。(顔のシルエットや吹き出しの大きさを調整する、吹き出しに罫線を入れる、振り返り文の行数を調整するなど)
- ICT活用の仕方について、教師の選択から、少しずつ児童の選択へと移行していけるようにする。

終末 振り返りの場面